

H29年度 指定管理者導入施設 管理運営評価シート

1 評価対象施設の概要

施設名称	生駒市デイサービスセンター 寿楽				
所在地	生駒市有里町95番地2				
指定管理者名	社会福祉法人 宝山寺福祉事業団	指定期間	開始日	平成 28 年 4 月 1 日	
利用料金制適用区分	利用料金制		終了日	平成 33 年 3 月 31 日	
選定方法	公募	評価実施年	指定期間 5 年のうち 2 年目		
設置目的	老人福祉法（昭和38年法律第133号）第15条第2項の規定により、本市に老人デイサービスセンターを設置				
主な実施事業等	入浴、食事の提供、機能訓練、介護方法の指導等を行う事業その他市長が必要と認める事業。				

2 利用実績

利用区分等	単位	予定(計画・目標)	利用実績	対前年度比	増減の理由等
要支援者・要介護者	人	7,300	7,048	96.5%	施設への入所・入院等の増加

3 事業収支

		事業計画	事業報告(実績)	(参考)前年度実績
収入計	A	75,875,000	76,421,244	79,419,845
指定管理料				
利用料金収入	C	74,718,000	75,237,884	78,286,250
自主事業収入				
その他		1,157,000	1,183,360	1,133,595
支出計	B	79,151,000	79,363,675	77,613,447
指定事業費		79,151,000	79,363,675	77,613,447
うち人件費	D	59,651,000	59,448,224	56,490,610
うち再委託料	E			
自主事業費				
事業収支	A-B	-3,276,000	-2,942,431	1,806,398
利用料金比率	C/A	0.985	0.985	0.986
人件費比率	D/B	0.754	0.749	0.728
再委託費比率	E/B			
補足説明(必要に応じて記入)				
未払いの計上方法が、変更となる。				

※人件費(D)及び再委託料(E)は主な支出内訳のため、DとEの合計額が指定事業費にはなりません。

4 利用者の意見把握状況

利用者の意見把握の実施の有無	有	実施方法	利用者アンケート・意見箱の設置・その他()
実施結果	意見内容等		対応実績等
	<ul style="list-style-type: none"> 機能訓練の継続 排泄アイテムの使用法 等 		<ul style="list-style-type: none"> 機能訓練に関しては、個別にて対応。 排泄に関しては、個々の利用者に応じた対応方法をリストにしている。 その他、ニーズにはすぐに対応するようにしている。

5 管理運営状況評価

施設の設置目的の達成（有効性）	
施設の目的や特性等に合致した管理運営（事業計画に則った管理運営、施設の有効活用による設置目的の達成等）	
指定管理者による自己評価	各法令の目的に沿った事業運営を実施、また当年の事業計画にも沿って事業運営を行っている。
市の評価	「感染症対策」や「コンプライアンス」に関する職員研修の実施するなど、事業計画に沿った運営ができている。
市民の平等な利用の確保（平等な利用への配慮、公平で適切な利用者の決定等）	
指定管理者による自己評価	ケアマネから依頼のあった高齢者については、定員超過やハード的・医療的ケアにおいて困難な場合を除き利用してもらっている。
市の評価	介護保険制度及び市条例を遵守し、市民の平等な利用の確保に努めていただいている。
利用者の満足度（利用者の意見把握結果による満足度の状況、意見等に対する取組状況、苦情等に対する対応等）	
指定管理者による自己評価	利用者アンケートの実施。利用者を意識したケアの提供を意識して、ニーズ把握に努め、個々の職員の判断でできることは、すぐに対応するように心がけている。苦情については、都度説明と謝罪を行っている。
市の評価	利用者アンケートの実施等や利用者の満足度向上のための取り組みがなされ、適切に運営されている。また、苦情についても適切に対応いただいている。
経費の縮減等の効果（効率性）	
経費の縮減等（経費縮減の具体的な取組、効果等）	
指定管理者による自己評価	数年前より、光熱水費等の使用量・料金をグラフ化し、目に見える形にして削減に取り組んでおり、使用量に関しては、現状を維持している。また、設備等機器等の経年劣化のため、取替え・修理修繕の費用が、多くなってきている。
市の評価	生駒市環境マネジメントシステムに基づき、光熱水費削減等に取り組んでいただいている。設備機器の経年劣化についても市に滞滞なく報告した上で、適切に対応していただいている。
収入の増加（収入増加の具体的な取組、効果等）	
指定管理者による自己評価	定期的な居宅介護支援事業所への訪問を継続し、事業所のアピールを続けている。また、ケアマネジャーとの報告・連絡を強化している。
市の評価	施設の認知度を上げるための居宅支援事業所への訪問やケアマネジャーとの連携といった取り組みや利用者の一人一人を意識した細やかな対応に努めていただいている。
適正な施設の管理運営（適正性）	
施設の管理運営の状況（適正な人員配置、従業員の能力・資質向上、広報活動、環境行動の取組状況、地域との連携等）	
指定管理者による自己評価	人員配置については、基準以上の職員を配置している。法人内外の研修に参加をしている。法人内施設の協力を得ながら、地域交流を兼ねた秋祭りを実施し、地域住民にも案内をしている。法人で主催している市民講座に、職員を派遣している。
市の評価	積極的に様々な研修を実施し、職員の能力向上を図るとともに、地域交流を兼ねた秋祭りの開催及びひめゆり講座やRUN伴等地域の活動への参加をとおして、地域と密に連携をとっていただいている点を高く評価します。また、SNSをとおして積極的な広報活動を実施していただいています。
自主事業の取組（施設の有効活用による市民サービスの向上への効果等）	
指定管理者による自己評価	
市の評価	
安全管理、危機管理体制等（個人情報保護、事故発生時の対応、危機管理体制等）	
指定管理者による自己評価	年2回の防災訓練を実施している。個人情報に関しては、法人の指針を周知徹底している。隔年で生駒消防署の協力を得て、救急救命講習を実施している（H29年度実施）。利用者に万一の事故が起きた場合、些細な事故・怪我であっても、家族・ケアマネジャーへの連絡を徹底し、程度によっては、医療機関への受診を行っている。
市の評価	「防災訓練及び救急救命講習の実施」及び「事故発生時の連絡体制の徹底」により、安全管理・危機管理体制の構築に努めていただいている。また、情報管理の研修にも参加し、情報の保護にも努めていただいている。

サービスの安定的な提供（安定性）	
事業収支（自主事業を含む）の状況（事業収支の妥当性、安定的な事業継続等）	
指定管理者による自己評価	利用中止される高齢者の増加に伴い、前年度比で減収となっている。また、当法人の事業規模からして、事業継続は可能だと思っている。
市の評価	引き続き利用者の増加に努めるとともに、安定的な事業活動を継続できるよう、適切に運営してください。

6 指定管理者の財務の状況

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
資産	6,210,875,344	6,167,021,704	6,223,285,746
流動資産	756,640,536	816,808,341	903,459,290
固定資産	5,454,234,808	5,350,213,363	5,319,826,456
負債	454,730,483	252,953,484	544,395,018
流動負債	188,309,333	239,997,034	325,182,311
固定負債	266,421,150	228,956,450	219,212,707
純資産	5,756,144,861	5,698,068,220	5,678,890,728
基本金	778,885,360	778,885,360	778,885,360
事業活動収入	3,278,009,853	3,292,603,216	3,390,553,198
経常収支差額	264,567,670	37,522,893	70,286,212

7 指定管理者の経営状況（財務・資産関係指標）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
負債比率 (流動負債+固定負債)/純資産×100	7.9%	8.2%	9.6%
固定比率 固定資産/純資産×100	94.8%	93.9%	93.7%
流動比率 流動資産/流動負債×100	401.8%	340.3%	277.8%
固定長期適合率 固定資産/(純資産+固定負債)×100	90.6%	90.3%	90.2%
総資産回転率 売上高/資産×100	52.8%	53.4%	54.5%
総資産経常利益率 経常利益/資産×100	4.3%	0.6%	1.1%

8 総合評価等（今後の業務改善に向けた考え方）

指定管理者による自己評価	居宅支援事業所への訪問、各ケアマネジャーやご家族との連絡等の強化を継続しているが、前年度より利用総数の減少した。今後もこれらの取り組みは継続しながら、提供するサービスが、在宅生活を支えていることを意識しながら、サービス内容の充実を図る。法人には、生駒市内に4カ所の通所介護事業所があるが、それぞれの主任クラスが協同して、サービス内容の見直し等を行っている。また、建物・大型設備の老朽化が目立ち始めている。利用者や近隣に迷惑とならないよう、市の関与を求めながら改修・改善していかないといけないと、考えている。
市の評価	職員の施設内外の研修への参加・様々な行事の開催や参加・地域貢献等で、職員の能力向上やより良いサービスの提供に努められています。今後、デイサービス事業への介護報酬のカット等、状況は厳しくなりますが、引き続きこれらの取組を実施し、利用者増及び利用者満足度UPに努めてください。